

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 不破 寛和		
歴史-01	重点事業	世界遺産条約登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ掲載するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、比較研究、広報啓発等の再推薦・登録に向けた取組を実施した。 ・世界遺産登録に結びつくコンセプトの再検討を進めるため、比較研究を行い、成果を取りまとめたものを準備状況報告書として文化庁に提出した。 ・やぐらの起源をさぐるため、龍門石窟研究院(中国)との共同研究に取り組んだ。 ・市民の理解を得るため、講演会等啓発活動を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	8,463	8,508	8,508	当初予算(千円)	7,092		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	8,463	8,508	8,508	一般財源	7,092		
事業経費運営	人員配置数	2.7	1.7	1.7	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	20,862	13,434	13,434	人件費(千円)	12,438		
	総事業費(千円)	29,325	21,942	21,942	総事業費(千円)	19,530		
事業経費運営	市民1人当りの経費(円)	166	124	124	市民1人当りの経費(円)	111		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	1. 廃止・休止による影響はない
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	世界遺産登録の取組については、4県市で連携し、再推薦・登録をめざしているため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、平成26年から実施してきた比較研究の成果をもとに、専門家等の意見を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進める必要がある。なお、新たなコンセプトがイコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できるかどうか、その可能性を見極めながら慎重に検討を続けていく。普及啓発事業や情報提供等により、広く市民等に発信する必要がある。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の取組について、幅広い支持を得られるよう、引き続き普及啓発に取り組む必要がある。 比較研究の成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 比較研究で得られた知見や成果を広く市民、県民へ公開するため、講演会「鎌倉の文化財、その価値と魅力～比較研究から見えたもの～」連続講座特別編「やぐらの起源をさぐる」を実施した。(平成30年3月31日商工会議所ホール) 平成27年度、28年度に実施した連続講座及び報告会の内容をまとめた冊子「鎌倉の文化財、その価値と魅力～比較研究から見えたもの～」を作成し情報発信を行った。 比較研究を行い、成果を取りまとめたものを準備状況報告書として文化庁に提出した。 やぐらの起源をさぐるため、龍門石窟研究院(中国)との共同研究に取り組んだ。 ツイッターを開設し、世界遺産の取組について情報発信を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 比較研究の成果をとりまとめ、引き続き普及啓発に取り組む必要がある。 龍門石窟研究院(中国)との共同研究について、とりまとめを行う必要がある。 比較研究の成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築に向けた取組を進めていく必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	暫定リスト掲載の文化遺産の登録状況									
団体名	古都鎌倉の寺院・神社他	彦根城	飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	百舌鳥・古市古墳群	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)		
他市実績				H30.6登録			推薦中			
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	暫定リスト掲載の文化遺産の動向も見極めながら、取組を進めていく必要がある。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	目標値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	30.0	60.0	100.0	100.0					
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
指標の内容	講演会等の実施回数					単位	回	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
	実績値	1.0	4.0	9.0	1.0					
	達成率	100.0%	400.0%	900.0%	100.0%					
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	比較研究については、平成26～28年度の3年間実施してきたが、平成29年度についても補足で研究を実施した。今後は引き続き必要な研究を行なうとともに、比較研究成果を踏まえ、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築を進めていく。平成29年度に作成した冊子を活用し、市民・県民等へ情報発信していく。									